



2021 年度 明星大学地域活動報告書

期間：2021.4～2022.3

CONTENTS

Topics 学部による 地域貢献事例	【理工学部】 【人文学部】	P.3
	【経営学部】	P.5
	【デザイン学部】 【心理学部】	P.6
地域連携	1 自治体との連携	P.7
	2 各種団体との連携・協働	P.9
活動例紹介	1 公開講座・イベント	P.11
	2 学友会・ボランティア活動	P.13
	3 学部・教員等による連携活動	P.15
発行物	地域交流センター2021年度発行物のご案内	P.19



明星大学地域交流センターでは、明星大学の地域活動について情報発信を行い、より一層、学内外の方々との相互理解・交流が深まることを目的として、地域活動報告書及び Newsletter を発行しております。

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響で、大学として地域貢献活動が難しい時期が続いておりますが、授業やオンラインを活用し、地域での活動を始めている現状を、当報告書にてお伝えしてまいります。

明星大学地域交流センター



Topics 学部による地域貢献事例

理工学部

◆GIGA スクール構想に関連したオンラインによるイカの解剖実習の実施

総合理工学科和田薫特任教授は情報学部情報学科福田光一教授と共同で、文部科学省 GIGA スクール構想における授業推進に関連した、オンラインでも可能な海洋教育について研究しています。2021年11月6日には、能登里海教育研究所協力のもと、西東京市立柳沢中学校においてイカの解剖実習を、オンライン授業で実施しました。

中学2年生を対象に、イカの解剖による無脊椎動物の理解と漁業・食材としての利用を学ぶ理科授業のうち、解剖の観察実習にて、理工学部の理科教育法でイカの解剖を習得した明星大学の学生12名が、^{インタープリター}実習補助者として支援を行いました。

人文学部

国際コミュニケーション学科

◆アフリカ関連学生企画イベントを、オンライン（YouTube ストリーミング配信）で開催

国際コミュニケーション学科学生によるアフリカ関連学生企画イベントを、オンライン（YouTube ストリーミング配信）開催しました。

• ENIJE'（エニジェ） 日時：2021年12月14日

「笑 NIJE' CHANNEL 2021」と題して、ミュージシャンで本学客員講師の矢野デイビットさんと、ガーナ出身の伝統楽器奏者ウィンチェスター・ニテテ・ボーイさんをお迎えし、「幸せ」で「喜び」に満ちた時間を共有しました（※ENIJE'（エニジェ）は「幸せ」「喜び」を意味するガーナの言葉）。

「異文化理解論」を受講する学生たちがガーナ文化を紹介しました。

• Africafe（アフリカフェ） 日時：2021年12月17日

菊地ゼミ（菊地滋夫教授）の学生たちが2010年より毎年開催。「助け合い、支え合い、輝いて生きる」というアフリカの素晴らしさを伝える学生企画イベントです。「Africafe 2021～人と繋がり笑顔になろう～」と題する今回のオンラインイベントでは、「ウブントゥ」（南アフリカ共和国のズールー語で「人であること」「人間性」などを意味する言葉）をキーワードに、ゼミ生たちが「幸せ」をめぐる語り合いました。

福祉実践学科

◆日野市療育園での東京都の「令和3年度障害者支援施設デジタル技術等活用支援モデル事業」に協力



※分身ロボット OriHime：株式会社オリイ研究所が開発。インターネットを通して操作することで、「その人がその場にいる」ようなコミュニケーションを実現。

吉川ゼミ（吉川かおり教授）は、東京都の「令和3年度障害者支援施設デジタル技術等活用支援モデル事業」として、東京都社会福祉事業団日野療護園と協働し、ICTを活用した障がい者と学生の交流を、分身ロボット OriHime*を活用して実施しました。コロナ禍で施設利用者の外部接触機会が制限されるなか、ICT機器の活用により非接触型の交流機会を創出することを目的としています。

施設利用者は OriHime のパイロットとして遠隔参加し、9月21日は明星大学構内を学生が案内する形で巡り、10月23日には多摩動物公園散策を実施しました。

◆学生提案の「チャットボットによる子育て支援情報の発信」が、東京都の事業として予算案に計上

熊本ゼミ（熊本博之教授）では、東京都が実施する「都民による事業提案制度（都民提案）」を活用して4つの施策を立案し、2021年6月に応募。その中で「チャットボットによる子育て支援情報の発信」の提案が、東京都の2022年度事業予算案に計上され、「令和3年度事業提案制度感謝状贈呈式」にて東京都知事より本学学生に感謝状を贈呈頂きました。



提案	概要
チャットボットによる子育て支援情報の発信	東京の子育てに関する情報をまとめた「とうきょう子育て応援ブック」の内容を活用し、子育て相談のチャットボットを導入して、保護者が必要な情報を入手しやすい環境を整備し、サービスの向上を図る。

◆日野市の男女平等課との施策による調査を実施

鵜沢ゼミ（鵜沢由美子教授）では、日野市役所及び実践女子大学須賀ゼミと協働し、日野市内の先進事例を対象にワーク・ライフ・バランス（以下、WLB）に関するインタビュー調査を実施しました。

日野市では、2020年度にまとめられた第4次日野市男女平等行動計画の中の目標に「女性と男性があらゆる分野でともに参画できる環境づくり」が掲げられています。その計画の柱はWLBの推進であり、家庭・職場・地域におけるWLBへの目配りが示されています。中でも、「WLBの推進に向けた企業への働きかけ」は第4次計画で重点的に取り組む7つの施策の一つとされています。

こうした中、鵜沢ゼミでは、ゼミ生が主体的にWLBの進んだ日野市の企業や団体の情報を収集し、選定することから始め、コロナ感染状況に応じてZOOM及び対面でインタビュー調査を実施しました。

詳しくは、明星大学WEBサイト、日野市HPにてご覧いただけます。



日野市記事



明星大学記事

◆日野市令和3年度平和活動推進補助金交付事業に採択

竹峰ゼミ（竹峰誠一郎教授）の学生が、日野市平和活動推進補助金交付事業の公募に応募し、採択されました。

この交付金は、「平和」をテーマとした主体的な文化芸術活動・学習活動で、日野市の核兵器廃絶・平和都市宣言の高揚を図ることを目的として行う事業に対して交付されるものです。

2022年2月20日、ゼミ生2名は、それぞれ研究発表・体験発表をオンライン（Zoom）で行い、事業の中で交流をした広島の方とオンラインでのグループディスカッションを実施しました。

事業名	内容	第1部	第2部
平和の実践者と出会い、ヒロシマに学ぶ継承	研究発表	<ul style="list-style-type: none"> 『第三世代が考えるヒロシマ「 」継ぐ展』スタッフを通じた体験（「」には、関わった人たちが心で感じたことを「」に込め、それぞれの方法で未来へと継いでいってほしいという想いが込められています） ヒロシマの発信と継承に取り組む人たちとの交流 平和活動に取り組むNPOへのインターン 上記の活動で得た体験や成果の発表、報告	事業の中で交流をした広島の方とのオンラインでつながる、グループディスカッション
平和とヒロシマを自分事にする —出身地の戦争と記憶や平和を結んで—	体験発表	<ul style="list-style-type: none"> 福島、館山、首都圏の戦争や平和の歴史を紐解く 広島で原爆被爆者との交流 上記にて学び、交流していく中で得られた成果を発表	

◆あきる野市のパン屋さんの焼き菓子パッケージデザインに協力（10/12~期間限定販売）



2021年10月12日より期間限定販売しました

経営学科1年生が、あきる野市「パンの家 あ・ら・モード」店舗で販売する焼き菓子のパッケージデザインとネーミングを考案しました。

この活動は、経営学科1年生選択科目「ビジネス実務基礎（フレッシュャーズ・チャレンジ）」（担当：田原洋樹特任教授、安岡寛道教授）の中で、学生たちが2カ月間にわたって商品のパッケージデザインに挑戦したものです。

コロナ禍で希薄になりがちな、人と人との繋がりを大切にしたいという想いを込めて、大切な人へのお土産にご購入していただこうと、学生たちが考案しました。

商品は、あきる野産の「のらぼう菜」と「とうもろこし」2つの味が楽しめるパウンドケーキとなっています。

◆「ひのたまガイドウォーク」の運営に学生が参加（11/20,21）

「ひのたまガイドウォーク」（日野市・多摩市・JTB 東京多摩支店・帝京大学小笠原ゼミ・たまロケーションサービス・明星大学田原ゼミの共同プロジェクト）が、11月20日、21日に実施され、田原ゼミ（田原洋樹特任教授）の3年生10名も、本イベントに参加しました。

日野市と多摩市の観光地や、ドラマ・映画のロケ地をめぐるまち歩きイベントでしたが、お天気も良く、紅葉も見頃で、参加者の皆様もご満足頂けた様子でした。



◆明星大学×紀の國屋によるコラボ商品「まん福」を考案（1/28 発売）



経営学部では、2018年より日野市の菓子メーカー「株式会社紀の國屋」と共同して新商品の開発に挑戦しています。

今回日野市より、日野市と岩手県紫波町が姉妹都市であることを広く周知する「お土産品」の考案について要請を受け、「ビジネス実務応用『新商品開発』」（担当：田原洋樹特任教授）の授業で「まん福」を考案しました。

生地は紫波町のもち米「ヒメノモチ」、餡には日野産のさつま芋に日野市内の豆腐店「とうふ処三河屋」の豆乳を加えるなど、地産産の食材を使用しました。

◆明星大学独自のプログラム「SDGs ポイント」の取り組みが、「脱炭素チャレンジカップ2022」にてマクドナルドオーディエンス賞を受賞

明星大学では、SDGsの重要性における学生の自発的な学習を促進するための課外活動として、ポイントプログラム「SDGs ポイント」を導入しています。本プログラムはSDGsに焦点を絞った、大学における自発行動型のポイントプログラムで、経営学部経営学科安岡寛道教授を中心に展開している取り組みです。

このたびその取り組みが、一般社団法人 地球温暖化防止全国ネットが主催する「脱炭素チャレンジカップ2022」にて、視聴者投票上位2団体に贈られる「マクドナルドオーディエンス賞」を受賞しました。

学生が実践したSDGsの取り組みをスマートフォンなどから投稿し、認定されると「SDGs ポイント」を日単位で付与し、1ヶ月～半年のポイント数で評価し、上位者を表彰します。SDGsとポイントプログラムをクロスさせることで、学生は楽しみながら実践し、SDGsの本質について理解を深めます。さらにその成果を日本社会に訴求し、最終的には地球環境に貢献することを目的としています。

◆「東京 2020 オリンピック・パラリンピック日野市ボランティアユニフォーム」をデザイン



デザイン学部では、日野市の依頼を受け、聖火リレー沿道ボランティア用・聖火リレーサポートランナー用・ウクライナ代表応援ボランティア用（日野市はウクライナ空手チームのオリンピックホストタウン）の3種類のユニフォームをデザインしました。

日野市・ウクライナ大使館と連携し14カ月の歳月をかけて完成したこれらのユニフォームは、聖火リレーセレモニー会場で日野市長、日野市スタッフ、日野市小学生サポートランナーが着用しました。また、ウクライナ女子空手55kg級銀メダルアンジェリカ・テリユーガ選手は、オリンピック表彰式でこのマスクを使用してくれました。

◆企画表現演習5授業「八王子活性化プロジェクト」にて、
銭湯振興の企画を提案（2021/12まで販売）

2019年度、八王子市の地域活性化プロジェクトとして銭湯振興の課題に取り組んだ学生たちが提案した「あなたが宣伝大使」の企画が事業化されました。

「あなたが宣伝大使」は、ランナー（＝宣伝大使）が八王子市内の銭湯の宣伝用Tシャツを購入・着用してランニング等をしながら、銭湯の広報宣伝を行うという企画でした。



◆「府中けやき並木イルミネーション 2021」のビジュアルデザインを製作
(11/10~12/26)



府中市の「府中けやき並木イルミネーション 2021」実行委員会より、デザイン学部の学生を対象にポスターと告知動画の公募が行われ、3名の学生作品が選ばれました。

◆ひの市民講座の提供（2/5~3/5 全5回）

日野市と多摩市の公民館が連携し、市民に学びを提供するプロジェクト、「たま学びテラス事業」の第2弾として、「ひの市民大学：明星大学連携コース」に、心理学部が講座を提供しました。全5回連続オンライン講座として実施しました。

日にち	講師	講演名
2/5	石井雄吉	私も今日からカウンセラー
2/12	福田憲明	ウェルビーイングとカウンセリング
2/19	竹内康二	不安と恐怖に対する応用行動分析的アプローチ
2/26	富田新	スクールカウンセリングの実際
3/5	藤井靖	ストレスに対するセルフケアと対人支援 -認知行動療法の視点から-

多摩市×日野市 たま学びテラス第2弾！
ひの市民大学 大学連携コース
明星大学
心理学部オンライン講座

【たま学びテラス事業】は、日野市と多摩市の公民館が連携し、2つの地域の市民を巻き込み、お互いから学びを得るためのプロジェクトです。その第2弾は「ひの市民大学：明星大学連携コース」です。日野市・多摩市に在住する市民向けに、心理学部のオンライン講座を提供します。この講座は、1/5（日）の学びテラス事業の一環として実施します。

このプロジェクトが実現して嬉しいのは、人と人のつながりによって大きな変化が期待されています。そこで、明星大学と連携して「市民講座」のオンラインコースの提供と、各自を支援していきます。ご参加の是非ご検討ください。

講座日	講師	担当
2/5 (土)	私も今日からカウンセラー	明星大学心理学部 石井雄吉 教授
2/12 (土)	ウェルビーイングとカウンセリング	明星大学心理学部 福田憲明 教授
2/19 (土)	不安と恐怖に対する応用行動分析的アプローチ	明星大学心理学部 竹内康二 教授
2/26 (土)	スクールカウンセリングの実際	明星大学心理学部 富田新 教授
3/5 (土)	ストレスに対するセルフケアと対人支援 -認知行動療法の視点から-	明星大学心理学部 藤井靖 教授

● 実施時間 13:00~14:30 ● 受講方法 Zoom 配信
● 対象 多摩市・日野市の市民の方 ● 定員 各講座50名
● 参加費 無料 ● 問い合わせ 042-581-7580
● 申込み 1/5（日）9:00から電話・電子メールまたはWeb

地域連携

1 自治体との連携

明星大学では現在、以下の5つの近隣自治体と連携協定を締結しています。

日野市 青梅市 八王子市 あきる野市 多摩市

今後も様々な分野で地域活動、生涯教育の推進、人的および知的資源の提供を連携して進めてまいります。



① 「ひの市民講座」への講座提供

2020年度理工学部を引き続き、2021年度は心理学部が、「ひの市民講座」に講座を提供しました。

この講座は、日野市と多摩市の公民館が連携し、市民に学びを提供するプロジェクト、「たま学びテラス事業」の第2弾ともなっています。

② 八王子市夏季研修にて講座を実施

八王子市では、小・中・義務教育学校の夏季休業中に、教員の資質・能力の向上を図るため、市内の大学や関係機関等と連携して夏季教員研修を実施しています。

2021年度は、多様化する社会での教育課題に応じた14講座が開催され、8月17日には、明星大学の神田正美特任教授と小泉和義特任教授が講師として、「児童・生徒理解」に関する講座を実施しました。

③ 青梅市より表彰

多年にわたり青梅市の発展に貢献したとし、3名の教員が青梅市から表彰状を、また明星大学には感謝状を授与されました。表彰は2021年10月23日に青梅市市制施行70周年式典において、執り行われました。

加藤めぐみ教授 人文学部福祉実践学科

塩野麻理教授 デザイン学部デザイン学科

④ 自治体と連携した各種委員会での委員活動を一部紹介します。

理工学部					
学科等	氏名	役職	地域	委員会名	概要
学科共通	神田正美	特任教授	東京都	都立八王子拓真高等学校 学校運営連絡協議会	委員。学校経営に対して提言
			多摩市	多摩市立落合中学校 学校運営連絡協議会	委員。学校経営に対して提言
電気電子工学系	小寺敏郎	教授	総務省	電波適正利用推進員	電波の適正利用の啓蒙を図る
環境科学系	亀卦川幸浩	教授	相模原市	環境影響評価審査会	委員。環境アセスメントを支援
			昭島市	環境審議会	会長。環境基本計画等の策定支援
	櫻井達也	教授	八王子市	環境審議会環境部	八王子市長へ環境問題にかかる答申を行う
	田中修三	教授	相模原市	環境影響評価審査会	副会長として環境アセスメントを支援
	宮脇健太郎	教授	日野市他	3市ごみ減量推進市民会議	委員長（日野市・国分寺市・小金井市）
			東京都	東京都廃棄物審議会	委員
			相模原市	環境影響評価審査会	委員として環境アセスメントを支援
柳川亜季	准教授	東京都	緑のボランティア活動に関する指導者育成委員会	自然観察や緑地保全などのボランティア活動の指導者を育成するために必要な事項を検討する	
		日野市	環境審議会	日野市環境基本計画、日野市地球温暖化対策実行計画等の審議	

人文学部					
学科等	氏名	役職	地域	委員会名	概要
人間社会学科	鵜沢由美子	教授	日野市	男女平等推進委員会	委員長
福祉実践学科	加藤めぐみ	教授	青梅市	男女平等推進懇談会	男女平等推進の施策方針の策定及び評価
			青梅市	まち・ひと・しごと総合戦略推進懇談会	青梅市の総合計画戦略の施策方針への評価
			東京都	多文化共生社会実現に向けた「学び合い」日本語教育推進プロジェクト 企画評価運営委員	文化庁 2021 年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業 地域日本語教育実践プログラムへの評価
	山井理恵	教授	武蔵野市	健康福祉総合計画・地域共生社会推進会議	武蔵野市の健康福祉総合計画の策定状況についての検討
			武蔵野市	地域包括ケア運営協議会	会長。武蔵野市の地域包括ケアや関連する事業を検討する
	横倉三郎	教授	あきる野市	総合計画審議会	委員
	吉川かおり	教授	立川市	自立支援協議会	委員
	川松亮	常勤教授	東京都	世田谷区・荒川区児童福祉審議会	児童相談所の措置に関する諮問を受けて答申
新宿区			いじめによる重大事態再調査委員会	重大ないじめ事例の検証	
経済学部					
学科等	氏名	役職	地域	委員会名	概要
経済学科	白井雅子	特任教授	東村山市	情報公開運営審議会	市民への報告書作成の際の適正さをチェック
			東村山市	入札等監視委員会	東村山市の入札状況の報告のチェック
			相模原市	情報公開・個人情報保護・公文書管理審査会	第3 部会長
応用経済学科(大学院)	山元俊一	客員教授	豊島区	保護司会	更生保護ボランティア
情報学部					
学科等	氏名	役職	地域	委員会名	概要
情報学科	中島由美	教授	青梅市	総合長期計画審議会	委員
教育学部					
学科等	氏名	役職	地域	委員会名	概要
教育学科	石田健太郎	教授	八王子市	社会福祉審議会児童福祉専門分科会	委員
	星山麻木	教授	相模原市	教育振興計画策定委員会	委員
			逗子市	教育委員会教育長職務代理者	逗子市教育委員会の施策全体について教育委員会、教育総合会議等で審議する
			鎌倉市	共生社会条例策定	委員。鎌倉市における共生社会条例の策定
	齋藤政子	教授	日野市	幼保小連携教育委員会	公立小学校・公立幼稚園を中心に私立幼稚園・保育所と共に連携し協議を行う
	高橋和子	教授	目黒区	区立目黒小学校学校評議員	会議に参加および学校内を視察し、小学校の現状に意見を述べる
	神山敬章	常勤教授	立川市	立川市高松学習館運営協議会	委員
	明官 茂	常勤教授	東京都	都立七生特別支援学校／中野特別支援学校	学校運営連絡協議会評価委員。学校運営への助言
	奥田晃久	特任教授	青梅市	子ども子育て会議 座長	子ども子育て計画作成への視聴からの諮問を受けた答申機関
			港区・荒川区	児童福祉審議会里親部	会長。社会的養護の里親認定の責任者
			国(厚労省)	厚労省子ども・子育て事業「警察署向け児童相談所マニュアル作成」委員会	国の補助事業として警察と児童相談所の連携マニュアルの作成
	樋口豊隆	特任教授	新宿区	学校第三者評価委員会	小中学校各1校の訪問評価
			武蔵野市	教育委員会事務事業点検評価	各課の事業に関する点検評価
			東京都	東京都教科用図書選定審議会	東京都教育委員会の教科書調査資料の妥当性について検討
	阿閉暢子	特任教授	全国	全国小中学校環境教育研究会	環境教育の推進(0B 役員)
杉山直道	特任教授	品川区	区立浜川中学校・校区教育協働委員会	委員長。コミュニティスクール事業、学校の教育活動への支援・意見等	
高橋延友	客員教授	府中市	スクールコミュニティー協議会	学校運営への助言	

デザイン学部					
学科等	氏名	役職	地域	委員会名	概要
デザイン学科	棚橋早苗	非常勤講師	立川市	クリーンセンター愛称名称選考委員会	新ゴミ処理施設築設（立川市クリーンセンター愛称）の施設名称を公募し、選考をする
			小平市	市民版環境配慮指針リニューアルプロジェクト	「市民版環境配慮指針」をリニューアルするための市民参加型検討会
心理学部					
学科等	氏名	役職	地域	委員会名	概要
心理学科	竹内康二	教授	昭島市	児童発達支援計画審議会	委員
			多摩市	多摩市立教育センター運営委員会	運営に関する事項を検討
	福田憲明	教授	日野市	子どもの貧困対策推進委員会	日野市の子供の貧困対策を推進する
			日野市	教育委員会いじめ問題対策委員会	委員
建築学部					
学科等	氏名	役職	地域	委員会名	概要
建築学科	西浦定継	教授	八王子市	八王子市旭町明神町地区周辺まちづくり構想委員会	八王子市の京王八王子駅と JR 八王子駅を結ぶエリアの再開発構想を検討
			多摩市	多摩ニュータウン再生推進会議	多摩ニュータウンの再生計画を推進する会議
			静岡県清水町	町景観審議会	景観行政に関する審議会
			青梅市	青梅市下水道事業運営検討委員会	青梅市の下水道事業運営に関する評価会議
			多摩市、日野市、相模原市、青梅市	都市計画審議会	都市計画事業に関する審議会
	藤村和正	教授	日野市	入札及び契約等監視委員会	委員長
	矢島寿一	教授	多摩地域	総合評価審査部会委員	委員（多摩川水系／相模川水系）
			川崎市	総合評価審査部会	委員。川崎市発注工事入札の総合評価審査
	米田正彦	教授	青梅市	市民ホールに関する懇談会	
	深井祐紘	助教	日野市	土地区画整理審議会	学識経験委員。万願寺第二地区

2 各種団体との連携・協働

明星大学は、多摩地域を主体として活動する団体と連携・協働し、地域活性化、人的交流、市民活動への協力を行っています。

① 公益社団法人 学術・文化・産業ネットワーク多摩

多摩地域の大学を核として、大学、企業、団体、行政が加盟する「産官学」の地域コンソーシアムです。

・常任理事会、大学部会への参加

・第 11 回新任教員研修セミナーへの協力

（公益財団法人大学セミナーハウス主催、公益社団法人学術・文化・産業ネットワーク多摩共催）

人文学部国際コミュニケーション学科菊地滋夫教授が、第 1 回（2011 年）より運営委員として参画。

第 4 回（2014 年）以降は現在に至るまで、運営委員長を務めています。

2021 年度は、8 月 29 日～31 日の 3 日間開催で、全国国公立大学の新任教員を対象に、大学の新任教員を対象のセミナーを実施。「with/after コロナ時代において、対面かオンラインかを問わず、アクティブ・ラーニングを円滑かつ効果的に実施する上で不可欠な相互理解や人間関係の構築に始まり、発達障害などの困難を抱えた学生への対応に至るまで、アクティブ・ラーニングの基礎、理論、デジタルテクノロジーを活用したファシリテーション、事前の授業設計、様々な実践事例などを体験的に学び、参加者がそれぞれ担当する授業を質的に深化させる機会」を提供しました。

② 大学コンソーシアム八王子

大学・市民・経済団体・企業・行政などが連携・協働し、魅力ある学園都市をめざして、2009年4月に設立されました。

・各委員会への参加

大学コンソーシアム八王子産学公連携部会委員 教育学部鈴木時男教授

その他、各部会にて委員を務めています。

・「第13回 大学コンソーシアム八王子 学生発表会」12月4日（土）、5日（日）

座長・審査委員を、明星大学理工学部総合理工学科 環境科学系岩見徳雄准教授が務めています。

発表概要：【材料・機械等】

VaRTM成形法における母材樹脂の流動解析の基礎検討

発表者：明星大学大学院 理工学研究科 機械工学専攻 複合材料研究室 須崎 亮太

指導教員：小山昌志 准教授

・八王子学園都市大学『いちょう塾』（市民講座）への講座を提供

	学部	講師名	主題	副題
前期	教育学部	金澤 修	ラテン語を始めてみよう II	楽しく学ぶラテン語初歩の初歩
	教育学部 日本コトバの会	鈴木時男 渡辺知明	どうしたら本がうまく読めるか？	読書法と読書術
	教育学部	齋藤晴恵	シニアのための 読み聞かせボランティア入門	自分のための脳力・活力・美力アップを めざそう
	教育学部	金子祥之	『平家物語』の世界を読む	「盛者必衰」の向こう側へ
後期	教育学部	金子祥之	『平家物語』の世界を読む 第2期	「盛者必衰」の向こう側へ
	教育学部	金澤 修	ラテン語を始めてみよう III	楽しく学ぶラテン語初歩の初歩
	教育学部	齋藤晴恵	はじめての絵本講座	読み聞かせボランティア入門（赤ちゃん編）

③ 美しい多摩川フォーラム 会員

「美しい多摩川フォーラムは、多摩川を地域づくりのシンボルに掲げ、多摩川水系(多摩川・秋川・浅川・玉川上水等)の流域周辺地域の各主体(市民、事業者、行政、大学等)とイコールパートナーとして連携・協働し、持続可能な地域社会としての美しい多摩づくりを目指しています。」(美しい多摩川フォーラム HP より)

④ 大学セミナーハウス 協力会員

大学セミナーハウスは、「高等教育機関における学生の研学及び修練の諸活動への協力並びに高等教育機関相互の交流に努めるとともに、教育研究成果の一般への普及を図り、もってわが国の高等教育機関並びに知識基盤社会の向上発展に寄与するための事業を展開しています。」(大学セミナーハウス HP より)

活動例紹介

1 公開講座・イベント

日付	主催	タイトル（表記のない場合は Zoom 開催）	概要
7/26~8/27	理工学部	夏休み科学体験教室（動画配信）	理工学部総合理工学科特設サイトから配信しました。対象は小学生・中学生・高校生。
7/30,8/1 (2日間)	情報学部	「IoTを身近に感じて、プログラミングを体験しよう」※1	電子情報通信学会東京支部との共同主催。学生が主体となり、講義で作成した作品を説明し、簡単なプログラミング体験によりIoTデバイスの動きを変えることを楽しんで頂きました。対象は中学生・高校生。
8/1~8/7	人文学部	明星サマースクールプロジェクト	国際コミュニケーション学科の学生と海外学術提携校の学生が、オンラインで英語の授業を実施しました。対象は小学生・中学校1、2年生。
10/30,11/1 (2日間)	学友会	第56回学園祭『星友祭』 -今年はハイブリッド形式の開催に挑戦-	テーマは「一番星」。一番星とは「宵の明星（金星）」のことで「明星」と「星」の意味が含まれています。他にも一番星は最初に輝き出す星です。星友祭をコロナ禍に光る最初の希望の光にしようという決意を込めました。
11/20,27, 12/4	人文学部	Bolzano-Meisei English Program -イタリアの小中学生と一緒に英語を勉強しませんか？-	国際コミュニケーション学科が、明星サマースクールプロジェクトの第二弾として開催しました。明星大学生がイタリアのボーゼン・ボルツァーノ自由大学（Free University of Bozen-Bolzano）の学生と一緒に、楽しく分かりやすく英語を教えました。イタリアの子どもたちも参加、お互い母語を共有していないからこそ、友達になるための英語を学ぶことを目的としたプログラムです。
11月27日	心理相談センター	心理相談センター公開講演会「精神障害福祉における生活支援と就労支援の最前線 -エッセンシャルワーカーをどう支えるか?-」※2	近年、精神障害福祉業界では自立を支援するためのグループホームや就労移行支援事業所が急増し支援の質の向上が求められるなか、支援を担う働き手の確保や育成・維持が大きな社会問題となっています。現場の最前線で格闘されている上田知之氏にご講演いただきました。
11月27日	教育学部	第19回明星大学 教育・保育セミナー	近隣の保育所、幼稚園、認定こども園、小学校の教職員の方々に、実践的な学びの場を提供する本学の地域貢献事業です。

※1



※2



※3



日付	主催	タイトル（表記のない場合は Zoom 開催）	概要
12/4,1/8, 2/1 (全3回)	デザイン 学部	公開講座「DeXT」ーデザインの本質・基本がよく分かる 高校生対象講座ー	“持続可能な循環型の地域づくり”や“日野市の SDGs の推進”をテーマにした、デザインを学びたい高校生のためのオンライン公開講座。参加者は、「日野市の『水と緑』の魅力伝えるためのポストカード（絵葉書）」のデザインに挑戦しました。
12/11	人文学部	国際コミュニケーション学科 「冬の英語教室」 ー英語の基本をマスターしようー	初級コースは小学校高学年から中学1年生を対象に、英語の文の基本的な作り方を、中級コースでは中学2・3年生を対象に受動態と現在完了形を教えました。教職志望の学生が中心となって、オンラインでビジュアル中心の授業を実施しました。
12/19	情報学部	公開講座 「はじめてのIoT サイバーセキュリティ演習」※3	セキュリティ対策に興味を持つ初学者を対象に、脆弱性対策が不十分なIoT機器を入口として、重要な情報にアクセスできてしまう事例に関するサイバー攻撃の演習を行いました。
2/19	情報学部	公開シンポジウム「Tama Music and Arts Festival 2022」(YouTube Live) ※4	現代音楽、およびコンピュータや電子音響によるエレクトロアコースティック音楽による音楽フェスティバルです。 情報科学分野と芸術学分野の専門家が共同でオーガナイズに関わることで、学際的な分野の振興を図り、学術的な観点からアプローチしました。
2/25	全学共通 教育	「東日本大震災から10年 明星と震災」	日本大学工学部生命応用化学科から佐藤健二先生をお招きし、全学共通教育佐々木秀明教授と、心理学部富田新教授が「東日本大震災から10年 明星と震災」と題して連続講演を行いました。
3/5	デザイン 学部	「デザインセッション多摩2021 (DeST)」 ～家でも職場でもない「サードプレイス」の可能性について考え、交流する場～ ※5	地域で活動する仲間とつながり、デザインの力を活かしたプロジェクトを増やしていくプラットフォーム「(DeST (デスト))」。 今年のテーマは「サードプレイス」。家でも職場でもない「第3の場所」を運営するパネラーたちと、これからの時代に求められるサードプレイスの可能性について考えました。
3/19	心理学部	心理学部 地域貢献事業 公開講座 「初めてのブリーフ・セラピー」 ※6	本研修では、短期療法（ブリーフセラピー）の基礎的な理解と、個人を対象とした面接で実践しやすいスリー・ステップ・モデルに特に焦点を当てました。スリー・ステップ・モデルは東日本大震災の被災者の悲嘆やストレス反応に対応するうえで出来上がった面接の進め方で、10年を経過し、様々な事例に対応できることが理解され、シンプルで活用しやすいものとなっています。

※4



※5



※6



2 学友会・ボランティア活動

日付	タイトル	概要
6/7~6/22	ボランティアサークル紹介	昼休み 12:20 から Zoom にてボランティアサークル紹介を開催しました。全 6 回実施。
7/28	明星大学『吹奏楽団』 フレッシュマンコンサートを配信	2021 年度フレッシュマンコンサートを、YouTube にて期間限定で配信。
8/5	音楽ボランティアサークル 『Freedom music』が日野市市民活動支援補助金【若者チャレンジ！部門】に応募し、採択	日野市が市民活動団体の自立・活性化や市民自身の手による地域に密着した公共サービスの充実を図るために、市民活動団体から事業を募集する補助金【若者チャレンジ！部門】に応募し、採択されました。 活動は、9月~2月の期間に5回、オンライン配信にて実施しました。 ・事業名 音楽の力で日野市を元気づけよう リモート音楽交流会で、デジタルデバイドの解消と交流の場づくり
9/13	ボランティアセンター 「学生ボランティア特別報告会」※7	「学生ボランティア特別報告会」を Zoom 開催。コロナ禍で従来の活動ができない中、ボランティアサークルの新しい活動のカタチを共有し、課題と今後について考えました。近隣外部団体の皆さんにもご参加いただきました。
10/16,17	日野市まちづくり市民活動フェア	明星大学ボランティアセンターが紹介動画で、オンライン参加しました。
10/30~11/1	第 56 回学園祭『星友祭』	ボランティアセンター、地域交流センターが、動画配信にて活動を紹介しました。
12/8	二水会（高齢者の茶話会）に参加	音楽ボランティアサークル『Freedom music』が、日野市明星大学北門下の二水会（高齢者の茶話会）にてパフォーマンスを行いました。
12/19	日野市三井台つくし子ども会 クリスマス会	『教育研究部』が、日野市内三井台つくし子ども会にてクリスマス会を運営しました。
12/24	日野療養園クリスマスコンサート (動画配信)	音楽ボランティアサークル『Freedom music』が、日野療養園クリスマスコンサートに動画配信で参加しました。

※7 「学生ボランティア特別報告会」



参加したボランティアサークルからの報告では、SNS を活用した勧誘で部員が増えたところもありました。各サークルは、オンラインで部員同士の交流をはかりながら、IT 環境が整った活動先と打ち合わせを重ね、新しい形での活動の模索を始めていました。

報告会には、今まで明星大学のボランティアサークルと深く関わってきた日野市社会福祉協議会、日野市地域協働課ほか、地域のボランティア拠点の方々も参加していただき「広報活動などでも協力していきましょう」とエールを送っていただきました。

日付	実施団体	概要
12/26	日野市わかば子ども会 クリスマス会	『教育研究部』が、日野市内わかば子ども会のクリスマス会の運営を実施しました。
1/8	まゆだまの集い	府中市是政文化センターにて、『初等教育研究会どろんこの会』がまゆだまの集い（コマ遊び、羽子板、竹馬などの昔遊びを子供と行い、指導を行う）を実施しました。
1/23	東京ボランティア・市民活動センター運営委員会企画シンポジウム参加	東京ボランティア・市民活動センター運営委員会企画シンポジウム「これからのボランティア・市民活動～コロナ後の新たな展開へ～」に、パネリストとして、『Sun-Flower』代表学生とボランティアセンター職員が参加。現場からの提起、学生の想いとは？と題し想いを伝えました。Zoom開催。
1/28	オンライン交流会	ボランティアサークルメンバーの在校生、4年生、卒業生が参加し、オンライン交流会を開催。今年度も本来の活動はできない状況でしたが、卒業していく4年生から今までの活動についての想いや卒業生から大学時代の経験の大切さを伺うことができました。Zoom開催、参加者16名。
2/3	音楽ボランティアサークル 『Freedom music』が「学生ボランティア活動体験レポート募集」にて表彰 ※8	音楽ボランティアサークル『Freedom music』の前代表・中村有伺さんが、一般財団法人学生サポートセンターが主催する「令和3年度（第19回）学生ボランティア団体助成事業『学生ボランティア活動体験レポート』」に応募し、採択されました。 受賞者：教育学部 教育学科 数学コース 3年生 中村 有伺 レポートタイトル：「元気と笑顔を届ける音楽ボランティア」
2/27	「日野市三中地区青少年育成会育成会 ふれあいコンサート」	明星大学『吹奏楽団』が、「日野市三中地区青少年育成会育成会 ふれあいコンサート」にYoutube動画にて参加しました。
3/7~3/12	「ボラネット多摩」のイベントに、音楽ボランティアサークル『Freedom music』がパネル展及びオンライン参加 ※9	イオンモール多摩平の森で多摩地域の大学と地域によるボランティア活動のパネル展が開催され、『Freedom music』が今までの活動を写真で紹介しました。 また、3月12日（土）イオンホールにて開催された「大学生ボランティア活動展～えっ？多摩地域でこんなことをしていたの！？～」にはYoutube動画を配信しました。

※8

※9 3/7~3/12 イオンモール多摩平の森パネル展の様子



令和3年度（第19回）学生ボランティア団体助成事業『学生ボランティア活動体験レポート』に応募し、採択された、教育学部3年生中村有伺さん



ボラネット多摩とは…

多摩地区の大学と地域によるネットワークの通称です。

参加団体：中央大学ボランティアセンター、明星大学ボランティアセンター、実践女子大学キャリア生活支援課、東京都立大学ボランティアセンター、法政大学多摩ボランティアセンター、日野市企画部地域協働課、日野市ボランティアセンター（日野市社会福祉協議会）

3 学部・教員等による連携活動

理工学部					
学科	教員氏名	月日	地域	タイトル	概要
総合理工学科 ・学科共通	和田薫	10/28	八王子市	高尾山 SDG s 教育プログラム	高尾山で生物多様性を調べる SDG s 教育プログラムを実施しました。
総合理工学科 ・物理学系	飯塚礼子	1/31	関東地区	市川市大洲中学校区	市川市大洲中学校区星空観望会を実施。
総合理工学科 ・機械工学系	寺田耕輔	11/15	インターネット	公益財団法人川崎市産業振興財団オンライン版ネットワーク交流会講演	大学等の研究シーズを紹介して新技術・新製品・新サービス開発の切っ掛けを提供、企業の新たな事業展開を促し、新技術や産学連携に関心のある企業関係者と繋がる交流会にて講演しました。
総合理工学科 ・環境科学系	亀卦川幸浩	1/30	昭島市	令和3年度昭島環境未来会議	「2050年カーボンニュートラル」をテーマに、二酸化炭素排出実質ゼロの実現に向けて取り組まなければならないことについて、話し合いました。 当日は市内及び近隣市の高校生等、18名が参加。
	宮脇健太郎	年4回	日野市	日野市ごみ減量・リサイクル等推進協議会	日野市役所、市民、大学生、関連事業者の協働事業。日野市におけるごみ減量・リサイクル等の状況を確認し、各種活動の情報交換を行い、ごみゼロプラン（廃棄物処理基本計画）の進捗状況と課題抽出、対応策などを検討。理工学部学生が2名参加しています。
	浅原ゆかり	月1~5回	あきる野市	横沢入里山保全地域の保全活動	東京都の横沢入里山保全地域において、湿地の整備や保全活動を実施。 生息する希少生物の生息状況調査を実施し、整備方法等を検討しながら整備を行なっています。
人文学部					
学科	教員氏名	月日	地域	タイトル	概要
国際 コミュニケーション学科	菊地滋夫	2/26	京都府、 全国	大学コンソーシアム京都第27回FDフォーラム「大学教育の『場』を問い直す」	大学教職員のFDに対する意識を高め、大学教育の改善に資することを目的とするFDフォーラムでの報告。
	川又孝徳	12/4	全国	UNHCR WILL2LIVE Cinema 2021 明星大学特別上映会	国連UNHCR協会主催のUNHCR WILL2LIVE Cinema 2021 明星大学特別上映会を実施。上映作品字幕は、国際コミュニケーション学科の「映像翻訳1A」の学生が担当しました。
	橋本卓	月1回	日野市	国際交流/多文化共生社会推進イベントの企画及び実施	日野市国際交流協会における国際交流/多文化共生社会推進イベントの企画・運営。イベントには明星大学の留学生や日本人大学生も参加しました。
	妹尾和美	通年		社会福祉法人マザアス	第3者委員。施設で起こった苦情等に関する助言等。
情報学部					
学科	教員氏名	月日	地域	タイトル	概要
情報学科	山中脩也	5/31 ~7/15	日野市を 中心に 全国	大学生らが優しく寄り添うプログラミング農園「はじめてのプログラミング」	プログラミングに興味のある多くの方の学びを止めないことを目的として、プログラミング初学者を対象とした無料オンライン講座です。
		8/10~ 16(13 日を除く)	日野市を 中心に 全国	テキスト型プログラミングで楽しく遊ぶ「プログラミングパーク Caba 2021 オンライン」	小学生(5年生以上)・中学生・高校生・大学生・社会人・教えた保護者を対象に実施。バーチャルスペースを提供するサービス oVice を活用し、オンラインでも、参加者との交流を密に行える工夫を、本学情報学部の学生と一緒に構築しました。
		10/19 ~1/20	日野市を 中心に 全国	大学生らが優しく寄り添うプログラミング農園「はじめてのプログラミング」	プログラミングに興味のある多くの方の学びを止めないことを目的として、プログラミング初学者を対象とした無料オンライン講座です。
		2/7~ 3/24	日野市を 中心に 全国	大学生らが優しく寄り添うプログラミング農園「はじめてのプログラミング」	プログラミングに興味のある多くの方の学びを止めないことを目的として、プログラミング初学者を対象とした無料オンライン講座です。

教育学部					
学科	教員氏名	月日	地域	タイトル	概要
教育学科	学部での活動	10/17 11/7	三浦郡葉山町	教育学部の学生が「みんなのデイキャンプ」を実施	2005年度以来、地域の子どもたちとご家族のために 行っている地域貢献活動。葉山ハーモニーガーデンにて、 学生と子どもとご家族で、馬と触れ合う「ホースハー モニー」を実施しました。
		11/25	青梅市	教育学部の学生が「青梅療育キ ャンプ」をリモートで開催	青梅市教育委員会と連携し、学生が発達障がい児やその家 族と過ごすことで障がい理解を深め、引率・宿泊・レクリ エーションの企画運営を行い、実践的なマネジメント力を 身につけることを目的としています。コロナのため Zoom 開催となりました。
		11/27	日野市	「第19回 教育・保育セミナ ー 保育ワークショップ」を開 催 ～粘土とスマートフォンを 使った「クレイアニメ」作りに 挑戦	紙粘土を使った創作ワークショップにて、子どもたちと一 緒にイメージの世界を共同空想し、「アニメーション」と して記録に残す方法についての講座です。 スマートフォンカメラで撮影し、アプリを用いてパラパラ 漫画のようなアニメーションを作成しました。
	内田富男	7/31	鹿児島県 喜界町	「グローバル人材」育成支援 連携事業	国際遠隔交流会第3回（スリランカ）を実施。
	小林一岳	3/6	八王子市	八王子市民自由講座講演	市民自由講座「大河ドラマ『鎌倉殿の13人』～なぜ源氏 将軍は3代で途絶えたのか」講演。
	齋藤政子	7/21	全国	全国幼年教育研究協議会	夏の研修会講師。
	島田博祐	11/7	青梅市	体験ワーク「インクルーシブバ レーボール」を開催 (インクルーシブスポーツ： 性別や年齢、障害の有無にかかわら ず、様々な人がスポーツを介して交 流し、社会参加を楽しむこと)	今回の企画はバレーボールバージョン。 明星大学生20名、「発達指導支援法1・2」に参加して いる発達障がい児、知的障がい特別支援学校バレー部 OB、特別支援学校教員、一般参加者等約50名で実施。 企画責任者は、教育学部の島田博祐教員（大会委員長）と いわき短期大学の綿引清勝講師（競技委員長）。
	西本絹子	9/3	杉並区	令和3年度学童クラブ担当者会	全学童クラブの正規職員を対象とした研修会「学童クラブ で特別支援児童を受け入れる環境を考える」の講師。
	藤枝充子	8/30,3 1他	埼玉県	埼玉県保育士等キャリアアップ 研修 8/30,31、10/29,30、 12/20,21	保育士の処遇改善のため、国が始めた研修制度をうけて、 埼玉県が実施している県内の保育士等の専門性の向上、リ ーダー的職員の育成のための研修。講師。
	星山麻木	7/23	羽村市、 福生市、 瑞穂町、 青梅市	障がいのある児童・生徒の理解 推進講演会第1回「子どもの個 性を大切にしたい関わり方」	特別支援教育のさらなる推進のため、羽村市、福生市、瑞 穂町、青梅市の共催で講演会を企画、瑞穂町にて講演。
		11/19	鎌倉市	地域共生社会推進全国サミット in かまくら	『SOSの声とつながり、社会的孤立を防ぐには』パネリ スト。
		9/1 5~ 11/ 17	相模原市	相模原市発達サポート講座（第 2期）	子どもの発達に関する保護者の不安や悩みを和らげるとと もに、保護者以外の大人も含めて子どもの発達への理解を 深める講座。
		1/5 ~3/ 31	八王子市	令和3年度 特別支援教育地域 講座「星と虹色なこどもたち」	新型コロナウイルス感染拡大防止のため動画配信による開 催。市民の皆さん、保護者、教員、保育士、支援に携わる 方々を対象にしています。
	吉富芳正	6/22	茨城県	令和3年度ベテラン教員研修 講座	講義「カリキュラム・マネジメントの推進」講師。
	奥田晃久	年1回	板橋区	教育委員会生活指導主任研修 講師	生活指導主任に対しての、年毎の新しい児童福祉施策の研 修講師。
	樋口豊隆	通年	東京都他	教員研修会（各地）	教員研修講師。
	神林寿幸	9/9	全国	独立行政法人教職員支援機構 教職員等中央研修	令和3年度第3回校長研修講義・演習「タイム・マネジ メント」講師。
	佐藤玲子	年6回	町田市	東京都立成瀬高等学校 BB プ ロジェクト 成高キッズ英語塾 PJT への協 力	都立成瀬高校にて、学校外の専門家と連携して、実社会に おける答えのない様々な課題に対し、高校生なりの最適 解を導き出すことを目的とした探求科の時間の教育 PJT のうち、1学年での英語授業 PJT（成瀬キッズ語塾開校 PJT）に協力しました。

教育学部					
学科	教員氏名	月日	地域	タイトル	概要
教育学科	神田正美 小泉和義	8/17	八王子市	八王子市夏季教員研修に教育学部の教員が協力	「児童・生徒理解」に関する講座を実施。
	山内雅子	8/23	東京都	東京都小学校音楽研究会 器楽研究会	教員研修会「和楽器を取り入れた合奏」講師。
	吉田恵	4/18	さいたま市中央区	与野音楽連盟 「青少年コンサート」事業委員	地域の青少年（幼児～大学生）の音楽愛好家たちへの支援と研鑽の場を提供。
	田辺守男	月1回	埼玉県 入間市	入間市児童センター 「科学クラブ」	小学5年、6年生に科学実験教室を実施。
	三村彩子	11/1	多摩市	多摩美大美術館と東京都埋蔵文化センターの見学と実習	美術館では主に鑑賞教育を行う場合の実施の仕方を学芸員とともに考えました。 埋蔵文化センターでは土器に触れることで造形的な特徴と技法について実際に体験する中から学びました。
全学 共通教育	高橋珠州彦	通年	三鷹市	三鷹市東京都指定有形民俗文化財「武蔵野（野川流域）の水車経営農家」解説員	地域文化財の見学者対応。
	田中 愛	2/19	群馬県	群馬大学地域貢献シンポジウム 「再考するスポーツ・運動の価値」	シンポジウムでの講演および質疑応答。
	田中 藤司	通年	府中市	府中市史編さん事業	
経営学部					
学科	教員氏名	月日	地域	タイトル	概要
経営学科	学部での活動		多摩地域	TAMA NEXT リーダープログラム実施	多摩信用金庫と明星大学経営学部が共同で主催する「TAMA NEXT リーダープログラム」は、多摩地域の次世代ビジネスリーダーを育成することを目的に開設されたプログラムで、2021年度は13期生12人。
	河合美香	月1回程度	八王子市	（仮称）はちおうじ未来デザイン2040」懇談会	八王子ビジョン2022の基本計画から新たな2040年に向けた長期ビジョン策定の懇談会への参加。
	谷井良	7/21	町田市	経営学部・谷井ゼミが産学連携プロジェクトの報告会を実施	軒先社との産学連携プロジェクト。「軒先社に登録されている遊休スペースを使って新しい事業・サービスを企画して提案する」をテーマに毎回取り組んできましたが、今回は新たに「SDGsとの関連性」を考慮した新しいビジネスプランニングに挑戦しました。
	田原洋樹	10/1	日野市 多摩市	日野市・多摩市観光連携事業 「ひの・たまデジタルスタンプラリー」に協力	日野市・多摩市内のロケ地や観光スポットに設定されたチェックポイント全20カ所を巡り、スマートフォンでスタンプを集めるイベントに協力。
	伊藤智久	8/21	日野市	明星アントレプレナーシップ（起業家精神）チャレンジ	「バイトル」などの人材サービス事業やDX事業を展開するディップ株式会社と、創業支援を行うTOKYO創業ステーションTAMAとの三者間による「産官学連携プロジェクト」。考案したビジネスプランをディップ社へ提案しました。
月2回程度		立川市	TOKYO 創業ステーションTAMAにおける起業相談	TOKYO 創業ステーション TAMA のコンシェルジュとして、起業に関するコンサルティングを行いました。	
デザイン学部					
学科	教員氏名	月日	地域	タイトル	概要
デザイン学科	学部での活動	7/17	八王子市	「八王子活性化プロジェクト2021」企画発表会 ※10	3年生必修科目「企画表現演習5」において、地域の課題を解決するデザインに取り組んでいます。取り組み6年目となる今年度は八王子市役所より示された4つの課題について、八王子市の活性化につながる20の提案をまとめ企画発表会を開催しました。
	浅井治彦	12/10~12	関東	持続可能な未来を考える「エコデザイン展」	JIDA会員のプロ12名と関東地区のデザイン学生9校からの代表19名が持続可能社会をめざして3ヶ月間のワークショップを通じて考えた様々なコンセプトのエコデザインを展示。浅井治彦教授と学生が参加しました。

デザイン学部					
学科	教員氏名	月日	地域	タイトル	概要
デザイン学部	棚橋早苗	通年	小平市	東京 2020 オリンピック・パラリンピック 小平市民プロジェクト スポーツ&カルチャーフェスティバル in 小平実行委員会	東京 2020 オリンピック・パラリンピックに合わせて、小平市民が楽しめる展示とイベントを開催。 委員長。
		通年	小平市	こだいら観光まちづくり協会 「小平歴史マンガ製作」	企画・編集・デザイン。
心理学部					
学科	教員氏名	月日	地域	タイトル	概要
心理学科	福田憲明	11/5	多摩市	多摩市教育支援フォーラム	教育に関するテーマを取り上げ、市民に向けて情報公開しています。今回は、不登校対策委員会での協議を踏まえ、多摩市の不登校対策に関するシンポジウムを実施。
	松岡恵子	年 2 回	大田区	社会福祉法人ブシクおた 評議員会	精神障がい者へのサービスやグループホーム運営を行う社会福祉法人の、円滑な運営に協力。また同法人賛助会へも参加し運営協力しています。
		月に 1 度	大田区	高次脳機能障害を持つ人と家族のつと「たまりば〜」	場所提供および運営スタッフとしてかかわっています。
心理学研究科	福島里美	毎週 1 回× 14 回	横浜市	一般社団法人こどもみらい横浜 「フォスタリングチェンジプログラム」	イギリスから取り入れた里親向けの養育プログラムのファシリテーター。週 1 回×12 週間の連続講座に加えて、2 か月後のアフターセッション、1 年後のアフターセッションも行いました。
		月数回	大和市	日本ファンクショナル・タッチ・ペアレンティング協会講習会	地域の乳幼児を育てる親と子に機能的なタッチを用いた手遊びやふれあい遊び、ワークを行う講習会を開催。
建築学部					
学科	教員氏名	月日	地域	タイトル	概要
建築学科	西浦定継	年 4 回	青梅市	青梅市移住・定住促進プラン策定懇談会	青梅市への移住定住を促進する計画案を検討。
	西澤秀喜	7/5	省庁	研究・開発した AR 教材が国土交通省 建設技能プログラムに採用	初学者が熟練者の視点を体験できる 3D 教材を、AR (拡張現実) 技術を用いて研究・開発。今回、国土交通省公開の「建トレ・デジタル教材ライブラリー」の中で、この AR 教材が取り入れられました。
	深井祐紘	2/9	日野市	大学近くの団地商店街	空き店舗を活用する取り組みをしています。

※10 【デザイン学部】八王子活性化プロジェクト



2021年7月17日(土)、明星大学デザイン学部では、「八王子活性化プロジェクト2021」発表会を開催しました。

この発表会では、デザイン学部の地域連携科目である「企画表現5」を履修した学生が、20のグループに分かれてプレゼンテーションを行うとともに、パネルと模型による展示を実施しました。

今年度は八王子市役所からの依頼で、「児童館の機能を活かし若者にも魅力ある拠点に」、「『学園都市センター』の学生利用率向上」、「鹿島・松が谷地域の『まちをつかう』活動」、「日本遺産『霊気満山 高尾山』活用の仕組み」の4つの課題に取り組みました。学生たちが仮想企業をつくり、八王子市の現状、歴史、自然、産業、景観などについてリサーチを行い、問題点を明確にして、様々なアイデアを出し、そこから八王子を活性化するための20の企画を提案しました。

担当教員：萩原 修、池谷 聡、奥村 賢、塩野 麻理

土田 俊介、野口 勝央

発行物



【地域交流センター 2021 年度発行物のご案内】



◆活動報告

- ・2020 年度明星大学地域活動報告書 2021 年 6 月 1 日発行

◆地域交流センター Newsletter

- ・地域交流センター Newsletter Vol.8 2022 年 3 月 1 日発行

上記発行物及びバックナンバーは、明星大学地域交流センターの WEB ページより、ダウンロードいただけます。



当報告書に掲載いたしました情報は、一部以下のサイトでさらに詳しくご覧いただけます。

明星大学公式ウェブサイト

<https://www.meisei-u.ac.jp/>



明星大学地域交流センターWEB ページ

<https://www.meisei-u.ac.jp/support/tkc.html>



明星大学地域交流センター & ボランティアセンターFacebook

<https://www.facebook.com/meisei.tkc/>





明星大学地域活動報告書

2022年6月1日 発行

作 成：明星大学地域交流センター

住 所：〒191-8506 東京都日野市程久保 2-1-1

電 話：042-591-5111（代表）

042-591-9445（直通）

E-mail：gad-tkc@ml.meisei-u.ac.jp